



**学校法人
木の実幼稚園**

松山市西垣生町 1690
TEL 089-973-1256
FAX 089-973-1320

●発行人●
PTA 会長 松野 知巳
園長 中矢コノミ
PTA 編集部 穂山 史子
安野 和美
竹田 直美

**創立記念
バザーを
終えて**

文化部部長

館森 有加

終えて



**運動会を
終えて**
体育部部長 大木 優奈

第四十一回目の運動会が十
月十四日に開催されました。
天候も前日準備から運動会当
日午後まで、暑すぎず寒す
ぎすぎず、過ごしやすい気温で
無事に運動会ができる本当に
良かったです。練習のトイ
レ補助をしてくださったベ
ルマーク部員さんと補助役さ
ん、前日準備、当日園児係、
後片付けを手伝ってくださっ
た補助役の皆さん、本当にあ
りがとうございました。

運動会当日、作業をしなが
らこみあげてくる涙を我慢で
きなかった私たち体育部。練
習や準備などお手伝いをし
ていくなかで、子どもたちの
頑張りだけでなく先生たちの
変化も見てきました。本
とはどうございました。本
がどうございました!!

事をお詫び申し上げま
す。四月より初顔合わせの
部員11名で給食試食会と
併用して準備を進めて参
りました。大人が11名集
まるとき制作、工作の好き
な者、裁縫の得意な者、
迷惑をお掛け致しました

母になって久しくなりに
ながらにも苦痛に感じる
ことなく全員がワクワク
しながら絆を深め、又、
お揃いのTシャツに思
い同一年となり頑張りました。
部活の様な楽しさで大変
ながら努力有り、笑い
しながら努力有り、笑い
有りで活動出来ました。
保護者の皆様、先生
の声援やご協力の元、子
供達の笑顔に触れながら
園行事に携われた事を感
謝致します。

創立41周年 記念行事





『混沌の中っこぞ原理原則を』

理事長 中矢謙一郎

ここ数年、このみ新聞の一学期の号では時事問題に触れるながら寄稿させて頂いています。この秋メディアを賑わせているのは北朝鮮の核開発やミサイル問題、将来の増税の使途や政権交代の是非を巡り実施される衆議院選挙、そして我らが地元愛媛では「えひめ国体」です。どうなっているのでしょうか。そして、日本の国政はどうなっているのでしょうか。わずか数ヶ月先の未来すら誰にも正確には予想できないのが、今の時代の特徴です。

四百年続いた平安時代の影響を受けながら文化や宗教が開花した平安時代、その文化が華やぎをもつて発展を遂げた戸時代、高度経済成長を謳歌した昭和の時代、いずれも数力月先の未来が予想できないような不安定な世の中ではなかつたはずです。今のは、一寸先は闇であった戦国時代や、それまでの身分が崩壊し西洋文明が急速に移植された明治時代の再来かもしれません。戦国時代は、乱立していた群雄が一統されることがその時代の終焉駄でした。明治時代は歐米列強に植民地化されないよう日露戦争に勝利するほどの自衛能力を持つことがその時代の目標でした。しかし、今の世はどこに向かおうとしているのか、何が目標となるのか、一向に見えてこないことがその特徴のように思えます。

その様な世の中で、子どもたちに何を授けるべきなのか、日本中、そして世界中の教育関係者が頭を悩ませて

いるかもしれません。しかし、幼児教育は人間教育であり、

その根本は極めて単純明快なことだと思います。それは、

「大人が子どもの手本となること」です。小学校以上の学

術的段階に入る前の幼児期は、人間形成の時期です。そ

の時に子どもたちに触れ合う我々大人が子どもの手本

となることを心掛けねば、おのずと幼児教育は成立する

に違いありません。朝起きたら挨拶をし、掃除により心

を清め、車が通らずとも赤信号で横断せず、間違いかあ

ればごめんなさいと告げ、嬉しかつたらありがとうと伝

ります（苦笑）。

『子どもは「コンペイトウ』』

園長 中矢コノミ

「女性が働きやすい職場作り」が大きく動こうとしている社会の構造。そのために子ども達の受け皿を何とかしようとして、教育界は待機児童対策を余儀なくされているように思う昨今です。

日本の幼児教育がお茶の水女子大学に設立されて百四十年を迎えてます。この必要且つ大切と唱えられた幼児教育の根幹を握るがせいいのだろうか。計り知れない無限大の可能性を秘めた子ども達。日本ののみならず、世界のどこにあっても適応出来る大人へと育つて欲しいと願う子ども達。今、この社会が、私達大人がその環境として十分だろうかといろいろ思いを巡らせてると不安一杯の社会が見えて来るようになってしまいます。

「子どもは「コンペイトウ」である」と話された後援会での一節が思い出されます。幼児は常に全体的にコンペイトウのような無数の凸起（突起）を持ち、この突起から言葉で表せない内面の叫びを発信したり、つぶやきを発信したり…。子どもが言葉で言わないのがダメではなく、この突起から発信されている無数の声を拾い聞きとれる私達でなければならぬのでは。大人が目で見て耳で聞いて肌で感じ反応出来ることが最も大切なではないでしょうか。子どもは大人との関わりから心に橋を架けていき、多くの人々と信頼関係を築いていくと思います。ある子は徐々に、ある子は躊躇しながら、ある子は一足飛びに、それぞれ違った方法で心の橋を架けていくでしょう。どんなに忙しくても、無言の訴えや叫びを見落とすことなく受け止められる私達であります。

かかしコンテスト結果発表

1位 たんぽぽ組
ひまわり組



なかよしかかし
420票

2位 ふじ組



にんじゃかかし
308票

3位 さくら組



みきゃんかかし
272票

4位 きく組



みにおんかかし
232票

たくさんの
ご投票
ありがとうございました!!





え がお 2017 愛顔つなぐえひめ国体閉会式



第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

国体みきやん



♥新しく入られた先生♥

よろしく
お願ひします！



このみホーム
池内美奈子先生



ひよこぐみ
高橋 綾先生



ひよこぐみ
田中かすみ先生



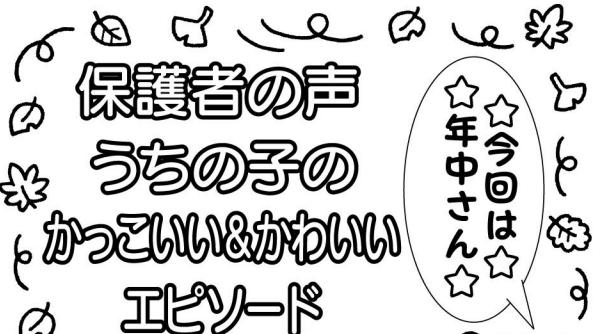


れんげ組

内藤 江美

かいと
(快仁)

ある日、快仁が突然、先生に「リレーの選手になってあげようか?」と言った。それまで運動会の話は全くしていなかったので、その発言に笑ってしまった。その日から、快仁のリレーの選手になりたいという気持ちがどんどん強くなり、どうやったら速く走れるのか考えていた。リレーの選手になりたい!!と決めたこと、それに向かって頑張る姿を見て、最初は笑ってしまったけど、快仁はすごく真剣で…その姿を見てかっこいいなあと思った。

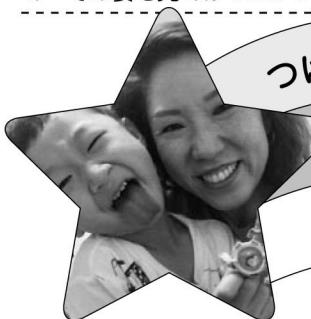


保護者の声

うちの子の

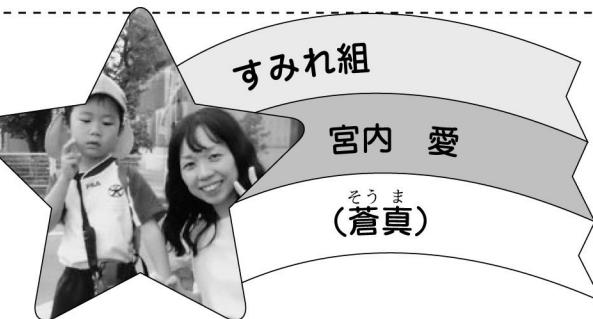
かっこいい&かわいい

エピソード

☆☆☆
年中さん
☆☆☆

つばき組

康 朱善

あん すんりょう
(安 崇烈)

すみれ組

宮内 愛

そうま
(蒼眞)

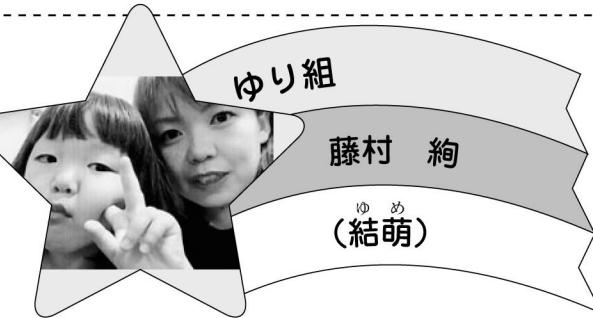
遠足の日。大きな滑り台を滑ると張りきって頂上へ。でも足がすくんでしまった様子。何とか先生と一緒に滑ることができたが、怖すぎて涙が。親としては挑戦できて良かったと。でも本当は1人で挑戦したかった様で解散後もう一度チャレンジ!出来た!よかった!カッコイイな!すごいな!これから的人生、必ず高い壁にぶつかる。その時こそかっこよく飛び越えてほしいと願う。これからもカッコイイ姿を沢山応援していきたい。

三人兄弟の末っ子です。三人目にして、こんなにお調子する子は初めて。最近はお笑い芸人のものまねをよくしています。そんな彼も今、すみれ組担任のしほり先生にホの字でございます。ラブレターも代筆で書かされました。ラブレターだけでは飽き足らず、ついに何かプレゼントしたい。と毎朝貢ぎ物を一生懸命、検索する姿は母としてはたまらなくかわいい姿です。こっそり応援しています(笑)。



ひまわり組

青木 結子

むねと
(宗斗)

ゆり組

藤村 紗

ゆめ
(結萌)

二人を出産した私のお腹はお世辞にもきれいとは言えなくなりました。ある時息子が「ママのお腹どうしたの?」と聞いてきました。私は思わず「ごめんね、ママのお腹きれいじゃなくて」と言ってしまいました。すると息子は、「ううん、僕にはとってもきれいに見えるのよ。」と言ってくれました。その言葉に泣いてしまった私の横で何度も「ママきれい」と言ってくれた息子。これからも女性を大切にするイケメンへと成長してください!

お兄さん2人いての末っ子娘なので、負けん気が強く男前な所ばかりの結萌ですが…(笑)お人形で遊ぶかわいらしいう事をするようになりました。お手伝いもたくさんしてくれる女の子らしい一面もあります。「ママしんどいやろ? 結萌がするけん。」とかわいい事を言ってくれます。私が「ありがとう」と言うと、かわいい笑顔を見せてホッとします。これからもかわいい結萌スマイルでみんなを笑顔にしてね。いつもありがとうございます。

